

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年12月14日

計画の名称	広島県における流域下水道事業の推進（防災安全）（重点計画）																				
計画の期間	令和05年度 ～ 令和09年度（5年間）												重点配分対象の該当		○						
交付対象	広島県																				
計画の目標	広島県では、太田川、芦田川、沼田川の各流域下水道事業により、広域的な下水道整備のスケールメリットを働かせ、健全な水環境の回復を図っている。																				
	これら流域下水道の処理場については、南海トラフ地震防災対策事業推進地域に位置し、また流域関連市町の下水道区域には防災拠点となる施設が多数あるため、地震発生後においても防災拠点施設から発生する汚水を流域下水道幹線管渠により速やかに処理場へ流下させ、所定の汚水処理を実施し、公共用水域に排出する必要がある。																				
	下水処理における特に重要な施設の地震対策を計画的に実施し、早急に県民の安全・安心の確保を目指す。																				
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		3,047		A	3,047		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5	R7	R9
1	処理場・中継ポンプ場における、重点施設について、耐震整備率を向上させる。			
	終末処理場・中継ポンプ場における重点施設の耐震整備率の向上	58%	73%	85%
	耐震対策を整備した施設数／耐震が必要な重点施設数（対象施設）期間内耐震施設数：12施設			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
下水道総合地震対策計画												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	広島県	直接	広島県	－	－	太田川流域下水道（終末 処理場，中継ポンプ場， 管きよ）	耐震対策（工事，調査，設計 ）	広島市，府中町 ，海田町，坂町 ，熊野町	■	■	■	■	■	465		策定済	
		下水道総合地震対策計画																		
	A07-002	下水道	一般	広島県	直接	広島県	－	－	芦田川流域下水道（終末 処理場，中継ポンプ場， 管きよ）	耐震対策（工事，調査，設計 ）	福山市，府中市	■	■	■	■	■	2,345		策定済	
		下水道総合地震対策計画																		
	A07-003	下水道	一般	広島県	直接	広島県	－	－	沼田川流域下水道（終末 処理場，中継ポンプ場， 管きよ）	耐震対策（工事，調査，設計 ）	三原市，東広島 市	■	■	■	■	■	237		策定済	
		下水道総合地震対策計画																		
												小計						3,047		
											合計						3,047			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

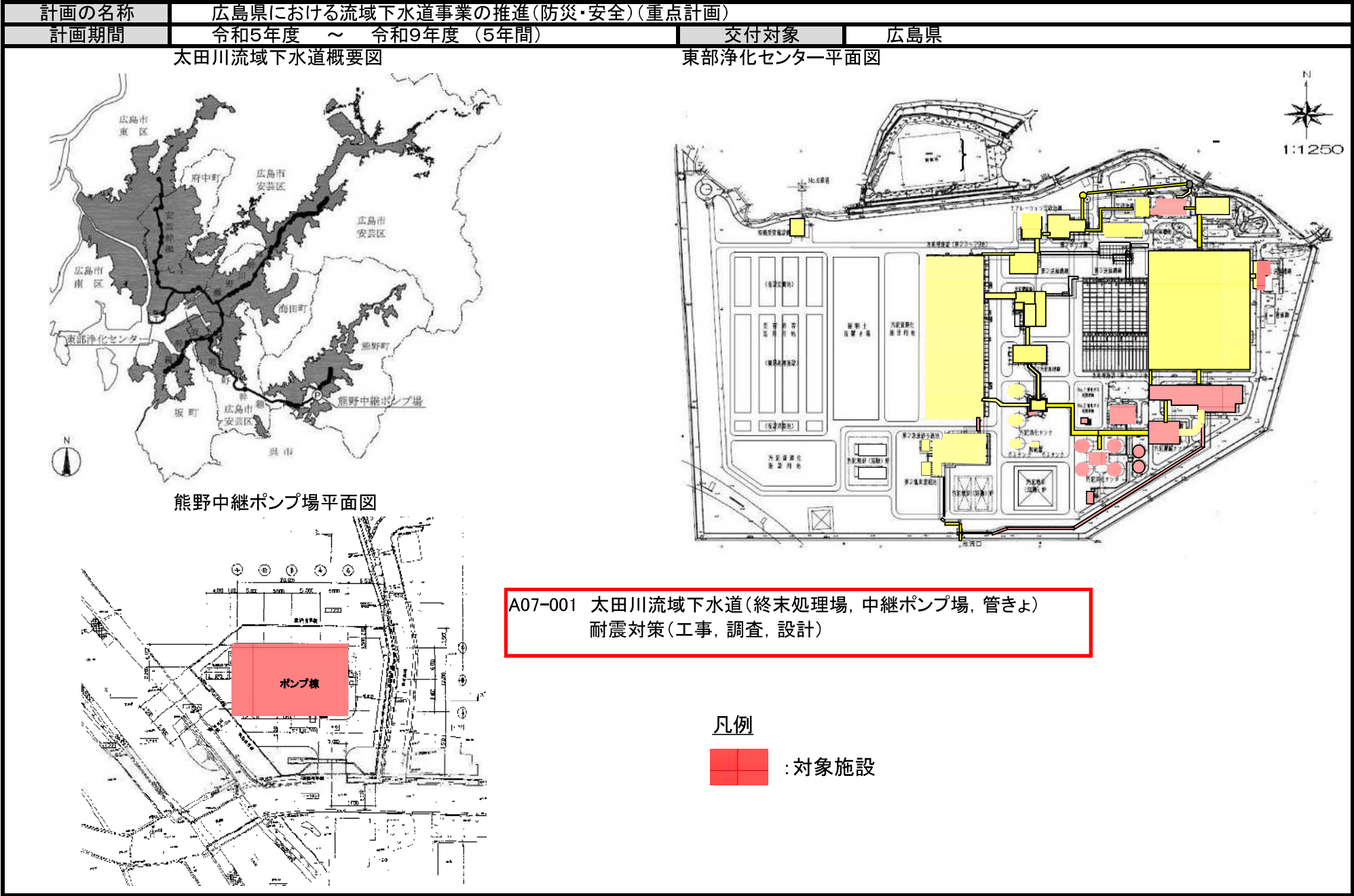
	R05	R06			
配分額 (a)	310	350			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	310	350			
前年度からの繰越額 (d)	0	123			
支払済額 (e)	187	336			
翌年度繰越額 (f)	123	137			
うち未契約繰越額 (g)	0	95			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	20.08			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		事業計画の再検討のため。			

事前評価チェックシート

計画の名称： 広島県における流域下水道事業の推進（防災安全）（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	
I. 目標の妥当性	
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	

(参考図面)

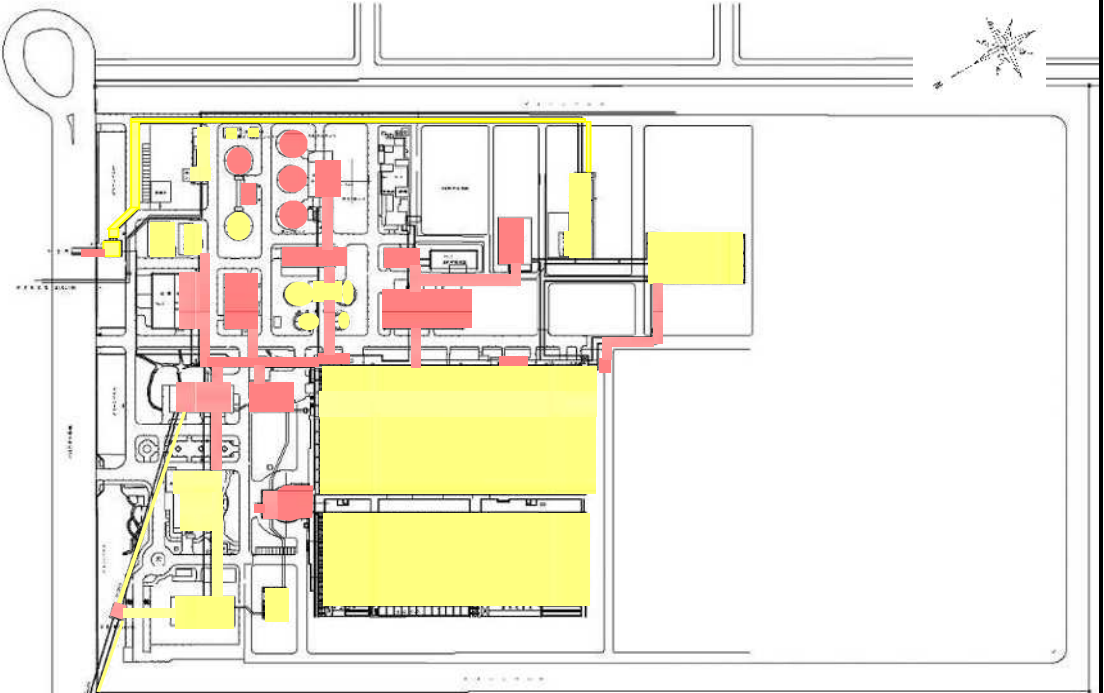
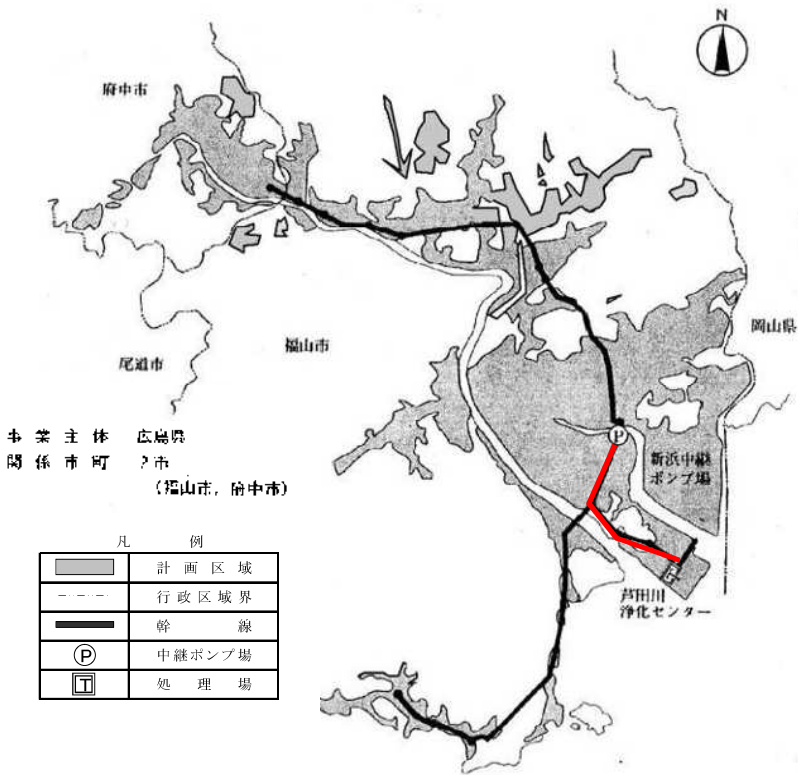


(参考図面)

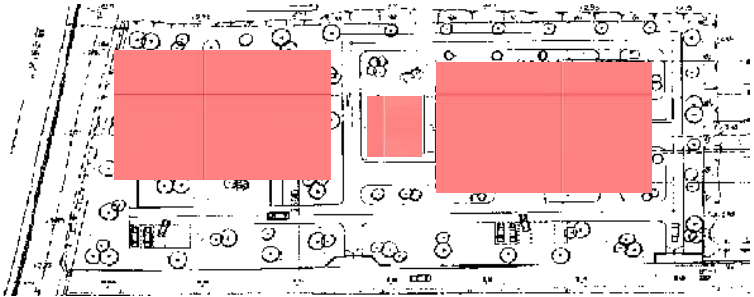
計画の名称	広島県における流域下水道事業の推進(防災・安全)(重点計画)		
計画期間	令和5年度 ~ 令和9年度 (5年間)	交付対象	広島県

芦田川浄化センター平面図

芦田川流域下水道概要図



新浜中継ポンプ場平面図



A07-002 芦田川流域下水道(終末処理場, 中継ポンプ場, 管きよ)
耐震対策(工事, 調査, 設計)

凡例

■ : 対象施設

(参考図面)

